

CLCからしだね書店便り

【第1号】2021年1月号



社会福祉法人ミッションからしだね
就労継続支援A・B型事業所
からしだねワークスが運営する

キリスト教書店

CLCからしだね書店

2021年1月～通販のみ営業開始

3月2日(火) 11:00

ブックカフェとして

オープン予定!



からしだね館の癒し犬?デブ
です。雪が大好きです。



地下ホールで大量の本の整理をしています。



社会福祉法人ミッシヨンからしだね

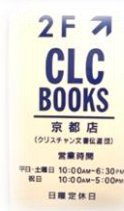
CLCからしだね書店 店長 坂岡 恵

(精神保健福祉士・社会福祉士・介護福祉士)

昨年十二月、クリスチャン文書伝道団CLC京都店が長い歴史を閉じました。

CLCがなくなってしまうと聞いて初めて、キリスト教書店がいかに大事な存在だったかに気づいたという方も、多かったのではないのでしょうか。

森下店長、冬木さん、相馬さんなどのお名前とともに、みなさまにとつてのさまざまな書店での出来事が、なつかしい思い出に変わっていくのは、少しさびしい気がします。歴代CLCの働き人おひとりおひとりが積み上げてこられたご労に、心からの感謝をお贈りしたいと思います。



そのようななかで、この1月より、CLC京都店の働きを引き継がせていただくことになった「社会福祉法人ミッシヨンからしだね」です。山科と醍醐の境、小野小町ゆかりの地で、2006年6月から、おもに精神障害者の生活相談と就労支援の事業を行ってきました。

本が大好きな職員や利用者がたくさんおります。けれども、さて、書店を経営する側になると、まったく初めてのことです。とまどいもありますが、神様から託された大切な働きですから、一生懸命、分を尽くしたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

このたびのCLCからしだね書店は、聖書が言う「もっとも小さい者たち」が集まって営まれます。

職員も利用者も、「障害」という「弱さ」をかなめにして、たとえどしい日常を送っています。ああでもない、こうでもない、と、まどろっこしいやりとりを繰り返しながら、泣いたり笑ったり。「スピードや効率も大事」とがんばってはみても、結局、いろいろなことにひっかかって、きわめてアナログで非効率なことしかできません。それでも、暮らしの中に、何かしら希望のようなものを見つけ出そうと、一生懸命です。

「どんな種よりも小さいのですが、生長すると、どの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て、その枝に巣を作るほどの木になります (マタイ13章31節〜32節)」

ミッションからしだねの名前の由来は、聖書に登場するからし種です。天の御国（神の愛の支配するところ）のたとえとしてイエスによって語られています。

私たちの存在や力は、この小さなからし種のようなものかもしれません。けれども、どんな種にもいのちがあり、それが播かれるとき、いのちの営みが始まります。小さな一人一人が、それぞれに与えられたミッション（使命）を、いきいきと生きることができる社会、それはまさに天の御国だと思えます。ミッションからしだねの使命は、福祉事業を通したそんな地域社会の実現です。

CLCからしだね書店は、そんなたどたどしい者たちの集まりだからこそ、肩の力を抜いて、ゆっくりとした時間を過ごしていただく場所になれるような気がします。それが私達のちよつと自慢できるポイントです。本とコーヒーの香りに包まれて、優しい時間をお過ごしください。



**CLC ブックス京都店から、
しっかりバトンを
受け継ぎました。
どうぞ、よろしく
お願い申し上げます。**

どんなお店になるかという・・・

- 1 キリスト教書をメインとする宗教書のほかにも、福祉、心理、精神、哲学、児童書など、人の暮らしや生き方、こころのありよう、人と人のかかわりについてなど、ゆっくり考えたい人のための本をたくさん揃えたいと思います。
- 2 お洒落でかわいい雑貨や小物もあります。
- 3 ブックカフェとして、ドリンクやスイーツ、ランチ等をご用意しています。ゆっくり本を読みながら、お過ごしください。
- 4 もちろん、コーヒーを飲みに来てくださるだけでもけっこうです。
- 5 図書コーナーも併設します。ドリンクを片手に、お好きな本を手にとってお読みください。
- 6 古書の販売もする予定です。
- 7 読書会や著者を招いての講演会など、人と人が出会い、つながる「対話」の場を提供したいと考えています。





↑ 書店に並ぶことを夢見て、
試作中の皮の聖書カバー

河原町丸太町の旧 CLC ブックス京都店にて、什器の積み出し。日本で暮らす難民の方たち3名が手伝いにきてくださいました。ものすごく手際よく、そして力強い助っ人です！！



マスコット犬デブを
あみぐるみにしました
書店に並ぶといいな。



【あとかき・おしらせ】

コロナウィルスは、とどまるところを知らず、京都でも2回目の緊急事態宣言が出されました。教会でも、ほちほち感染者が出ているとのことです。

福祉事業所には、1月7日付で、厚労省から「高齢者、障害者など特に支援が必要な方々の居住や支援に関するすべての関係者については、事業の継続を要請する」「十分な感染防止対策を前提として、利用者に対して必要な各種サービスが継続的に提供されることが重要」と通知が来ています。「十分な感染防止対策」がどこまでのことを指すのかとまだいながらも、利用者の支援と、書店の開店に向けての準備を進めているところです。

2つからだね書店便り第2号は、2021年2月中旬に発行予定です。「書店からのおしらせ」「おすすめ本」「こころの病とともに生きる人たちのこと」「本と子ども」等を掲載する予定です。

皆様、どうぞご自愛ください。神様の御守りをお祈りしています。

編集・発行

社会福祉法人ミッシヨンからだね

就労継続支援A・B型事業所からだねワークス
からだね書店&カフェ・トライアングル

〒607-8216 京都市山科区勧修寺東出町 75

書店電話番号＝075-574-1001 FAX 075-574-0025

書店メールアドレス＝clc@karashidane.or.jp